

『大人の世界』 制作日記

文／劇団INTELVISTA 田面木昭憲



12月7日(日)、八戸スペースベンで公演を行った。思えば、スペースベンで公演して10年になる。「音がする。」という芝居だった。あの時は、たかがむしやりに芝居をしていた。何を表現したいのか、何を伝えたいのか、足を運んでくださったお客様に何かを感じていただきたい。そのためには……

実に真つすぐであった。

年月を経て人は大人になる。それは自然になるのではなく、様々な経験がそうさせるのである。舞台に立つことも、年月を重ねることで、前述のテーマについてさらに深く考え、また新たなテーマにたどり着く。そのようなスパイラルの中で、役者は舞台の上で生きようとしている。

今回の芝居『大人の世界』の設定は、ある部活動の県大会の決勝

(勝利した高校が全国行き)の審査である。希望と夢に燃える新米コーチと長年高校生を見続けてきた会長を軸とした話し合いの場面である。若さと経験、夢と現実、見解の違い、さまざまなスレを感じながら、すり合わせながら、また自分の確固たる信念を貫きながら審査は進んでいく。

観に来ていただいた方々は何を感じてくれたのだろう。たくさんのご意見をいただいた。

「観ていて、つらかった。」「本当に子どものためだったのでしょうか?」「大人とはこういうものなの?」「自分も大人に近づいていのに気づいた。」

実は我々もこの芝居が正しいことを言っているとは思っていない。しかし、ひとつの答えには違いない。お客様がたくさんのことを感じ、考えてくれたこと、そしてアンケートという形で答えてくれたことに感謝している。実は、八戸の前に十和田でも公演をしたのだが、公演後役者達でかなり話し合った。やってみての手ごたえ、アンケートの内容、プライベートで感じたこと触れたお話、世代間の違い、様々な想いを交換し合った。解釈が変わったこともあった。わからなくなったこともあった。しかし、より深く役柄に、高校生の審査に入ってしまったように思

う。気づくと、がむしやりに芝居をしていた自分達が、だれかに伝えるということ、何かをしてあげたいということを今まで以上に強く感じていることに気づいた。自分たちができることは何かということ……。(大人の世界)と同じことを現実の世界でもわれわれは感じていたのだ。

芝居というのはおもしろい。嘘の世界を作り上げているのに、役者が舞台上で嘘をついてはいけない。薄っぺらいものになるからだ。

八戸公演を終えて、しばしインターバルをおく。3月には青森公演だ。我々は再び迷走する。しかし、新たな『大人の世界』を築かくつもりだ。もし興味を感じたら、青森にも足を運んでほしい。八戸公演とは一味違う作品になっているかもしれない……

そうしたいと今思っている。

Friday Amusement Negative Shop

11月のFANS (778~782回)

【だべり場 2009.1】

※演劇上演ではありませんが、お気軽にお立ち寄りください。

この公演は、次の日程で上演予定です。

開演	1/2	1/3	1/16	1/17	1/23	1/24	1/30	1/31
14:00	●	●	●	●	●	●	●	●
19:30	●	●	●	●	●	●	●	●

※入場料：無料

演劇空間

スペースベン

八戸市柏崎1-11-8
☎ 0178-43-9876
FAX 050-3588-8350
☎ 080-6025-0990

HP <http://spaceben.com/>Eメール owner@spaceben.com

※特別番組以外全て午後7時30分～、料金／一般400円 高校生以下100円(当日100円増)
※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

1月号好評発売中!

●新春テーマエッセイ「おめでとう」

左 館 秀之助／浅田 千草／小保内裕之
菅原 陽子／富沢 知成／川越 ふさ
林 和希／及川 真実／大黒 裕明
館 光子



●新春インタビュー

居酒屋ばんや 主人
類 家 正 人 さん(71歳)に聞く

読む楽しむ 読物満載

毎月ご愛読ありがとうございます

発行所／うみねこ出版社

八戸市六日町10 いわとくパルコ3F
TEL・FAX 0178-44-6636